

2016

Vol.28

11月10日

# 花水木

ハナミズキ

Kawaguchi Municipal  
Medical Center



特集

## 「ジェネリック医薬品」と 当センターでの取り組み

p ② ~ p ③

### 目次

- p ④ 「かかりつけ医を持ちましょう」
- p ⑤ 病院の取り組み：CSチームの活動について
- p ⑥ KMMC Information：皆さんは正しい手洗いをしていますか？
- p ⑦ 部署紹介：医療情報課
- p ⑦ 医師の交代のおしらせ
- p ⑧ 四季の移ろい：秋の風景
- p ⑧ ミニギャラリー3ヵ月

### 基本理念

川口市立医療センター  
イメージキャラクター  
「みみたース」



市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供します

## 「ジェネリック医薬品」と当センターでの取り組み

薬剤部 医薬品情報室 金子 智一

### 今さら聞けない? ジェネリック医薬品とは?

ジェネリック医薬品という言葉をお聞きになったことはありますか。最近ではテレビコマーシャルなどでもよく耳にする言葉で、病院や薬局などで「ジェネリック医薬品を希望しますか?」などと質問されたことがあるかと思います。

病院や薬局などでもらうお薬のことを「医療用医薬品」と言いますが、この医療用医薬品は製薬会社が多額の研究開発費と長い開発期間をかけて成分の研究や臨床試験を行い、お薬としての安全性や有効性を検証した上で、国の承認を得て販売されています。そのため、新薬を製品として販売を開始してから、およそ10年間はそのお薬の成分や製造方法などの“特許”が認められています。この特許期間は、他の製薬会社は同じ成分や製造方法でお薬を製造することはできません。そして、この特許期間が終了したお薬を、もともと開発した製薬会社とは違う製薬会社が製造・販売しているお薬をジェネリック医薬品と呼んでいます。ちなみに、最初に開発して販売された製品を「先発品」、ジェネリック医薬品を「後発品」という呼び方をすることもあります。

日本では医療用医薬品の値段を国が「薬価」という形で決めていて、全国どこの医療機関でも医療用医薬品の値段は一律です。ジェネリック医薬品は、特許が切れたお薬を他の製薬会社が製造して販売するため、研究開発費を抑えることができるので、当然安く販売することができます。そのため、ジェネリック医薬品の薬価は先発品と比べて6～4割程度とかなり安い薬価となっています。

またジェネリック医薬品はただ安いだけではなく、品質についての検証をしっかりと行っています。先発品と比較して同等の効果が得られることを確認し、そのデータを国が審査し承認していますので、ジェネリック医薬品は先発品と同等の品質を持ち、安全性・有効性が確認された安い値段のお薬であるということです。

### ジェネリック医薬品と先発品 どこが違うの?

ジェネリック医薬品は先発品と同じ成分で同等の効果が得られます。では違う点はなんでしょうか。それは添加剤などの薬の効果に影響を与えない成分や薬品名（販売名称）です。添加剤を変えることで、錠剤の大きさを小さくできたり、口の中で溶けやすくしたり、薬を飲む側の立場を考えて改良することができます。また、薬品名は先発品と大きく異なります。薬に付けられている名前には主成分そのものの名前である「一般名」と、製品個々につけられた名前である「製品名（商品名）」があります。身近なものだと、熱を下げたり、痛みを抑えるお薬の「ロキソニン」は製品名、このお薬の一般名は「ロキソプロフェンナトリウム」ということです。先発品の製品名は他に似たものがなく、覚えやすい名前を製薬会社が独自につけ、国が承認しているため、ひ

とつとして同じものはありません。一方、ジェネリック医薬品の製品名は一般名と同じにすることが決められていますので『ロキソプロフェンナトリウム錠「会社名」』という名前になっています。

## ジェネリック医薬品に変更した時の注意点

ごくまれにですが、添加剤などが変わったことによりアレルギーなどの過敏症状が出る場合があります。添加剤は安全性について国が承認したもののみを使用しているのですが、アレルギーというのは発生を予測することや原因を特定がすることが難しいのが現状です。もしかしたら体調不良が原因であって添加剤によるものではない可能性もありますし、先発品を服用していても起こることがありますので、薬を飲む以上は頭の片隅においておくべきことなのかもしれません。

また、薬品名やデザインが変わることで、一見違うお薬に見えても、実はまったく同じ主成分であることがありますので、ジェネリック医薬品へ変更した時や、いつもと違う医療機関などでお薬をもらった時などは、必ずお薬手帳を見せて、重複して同じお薬をもらうことがないように気を付けてください。飲み忘れなどのお薬が自宅にある場合にも同様に注意をお願いします。

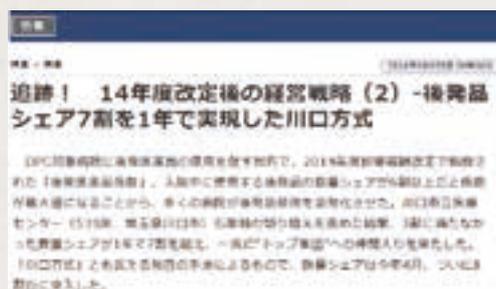
## 国はジェネリック医薬品の使用を推進

国民医療費は、平成2年度20.6兆円、平成12年度30.1兆円、平成22年度37.4兆円と急速に増大しており、最新のデータによると平成26年度は40.8兆円でした。国は増大し続ける医療費を抑制するために、医療機関に対して積極的にジェネリック医薬品の使用を推進するとともに、患者さんに対してもジェネリック医薬品についての啓蒙活動を行っています。

## ジェネリック医薬品に対する当センターの取り組み

当センターでは平成24年頃から徐々にジェネリック医薬品への切り替えを始めました。そして、平成26年からは本格的にジェネリック医薬品への切り替えを薬剤部が主体となって行ってきました。平成26年春の時点では、市場でジェネリック医薬品が販売されている医薬品全体のうち、院内での薬品使用量のおよそ25%がジェネリック医薬品でしたが、今年の春にはおよそ83%がジェネリック医薬品となりました。この取り組みにより、患者さんの医療費負担を軽減させ、さらには病院の経営にも大きく寄与することができました。

今年の8月、当センターでのこの取り組みについて医療・介護関連のニュースを専門に配信サイトを運営している会社から取材を受け、インターネット上のニュースとして全国に配信されました。病院で使用している薬の多くが先発品であったところから、短期間で効率的に切り替えが行われた事例として注目されたわけですが、この切り替えは今後も続いていきます。これからも薬剤部が中心となってジェネリック医薬品の情報収集を行い、患者さんにとっての利便性や病院経営など多角的な視点での検討を進めていきたいと考えています。



※一部抜粋しています

# 「かかりつけ医を持ちましょう」

皆さんは「かかりつけ医」の役割について、ご存じでしょうか？

国は、少子高齢社会を踏まえて、限られた医療資源を公平に活用できるようにするため、病状に応じた医療サービスの提供を

一次医療：風邪、腹痛、腰痛などの日常的な疾患

二次医療：肺炎、虫垂炎、胃潰瘍などの比較的専門性の高い疾患

三次医療：脳卒中、心筋梗塞、交通事故などの緊急入院による専門医療

の3つに分けています。そして、医療機関を受診する際には「かかりつけ医」を持つように周知活動を行っています。

この3つの中で、一次医療を担うのが「かかりつけ医」になります。皆さんのお住まいの近くには、〇〇医院、〇〇クリニック、〇〇診療所といった医療機関があると思いますが、ここで日々診療に携わっている先生が「かかりつけ医」です。「かかりつけ医」は、いつでも気軽に相談に応じて、日常的な診療や健康管理を行い、入院や検査並びに高度な治療が必要な場合には、専門の医療機関を紹介する役割を担っています。

## 基幹病院としての役割

当センターは、基本的には「かかりつけ医」から紹介いただいた患者さんの診察および治療にあたることを主な役割としており、二次、三次医療と言われる高度医療や専門医療を市民の皆さんに公平に提供しなければなりません。そのため、外来や入院治療が一段落しましたら、紹介元の「かかりつけ医」に戻っていただくために、紹介状をお渡ししています。なお、「かかりつけ医」がない場合には、総合相談室・がん相談支援センターの医療ソーシャルワーカーが「かかりつけ医」を探すお手伝いをしています。

もしも二次医療や三次医療を専門に行っている大きな病院が、一次医療で十分対応可能な患者さんであふれてしまったら、重症の患者さん

に適切な診療を行うことが難しくなってしまいます。こうしたことを少しでも減らしていくために、「かかりつけ医（一次医療）」と当センターのような基幹病院（二次・三次医療を担う病院）の役割をご理解ください。

現在、「かかりつけ医」の紹介状を持たないで当センターを受診した場合には、国の規定に基づいて初診時選定療養費（初診の際に他の医療機関から紹介状なしで200床以上の病院を受診した場合に初診料とは別にかかる費用）として2,160円がかかります。このような出費を避けるためにも、「かかりつけ医」を是非お持ちいただき、「かかりつけ医」と相談のうえで当センターを受診いただきますようお願いいたします。

### 【事前予約について】

「かかりつけ医」から当センターへの紹介状を渡された場合には、事前に予約を取ることができます。

- ①「かかりつけ医」からの電話予約  
または
- ②紹介状をお持ちの患者さんからの電話予約  
または来院予約

### 担当窓口：

病診連携担当

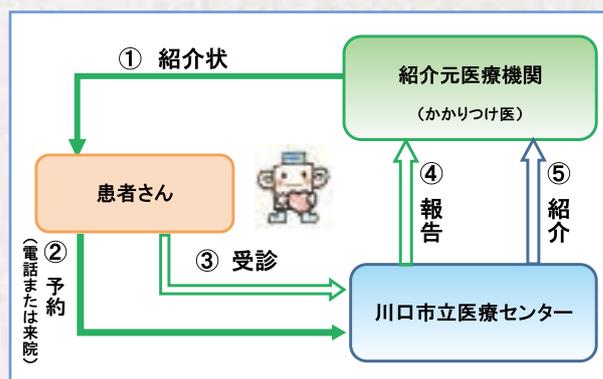
（総合相談室・がん相談支援センター内）

電話 048-280-1565（予約専用）

平日：8:30～16:00

第1・3・5土曜日：8:30～12:00

### 受診の流れ



# CS チームの活動について

CSチームリーダー 新田 美幸

CSチームは、患者さんやご家族が「当センターを受診してよかった、安心できた」と満足していただける病院となるよう、日々様々な活動をしています。CSとはCustomer Satisfaction（カスタマー・サティスファクション）＝顧客満足の略語で、様々な業界で重要視されており、CSの向上がチームの使命でもあります。チームメンバーは、看護職、医療技術職、事務職で構成され、多職種が連携して取り組んでいます。

CSチームが主に取り組んでいる三つの活動を紹介します。

一つ目は、接遇に関する取り組みです。CSを向上させるためには、患者さんやご家族に対する接遇の向上を図るだけでなく、職員同士が円滑にコミュニケーションでき、働きやすい環境であることも重要なものとなります。今年度は「あいさつ」をキーワードに接遇研修を行っています。人と人をつなぐ重要なコミュニケーションツールであり、心を開く最初のきっかけになる「あいさつ」について、その重要性を改めて学習し、実践できるよう取り組んでいます。

二つ目はメッセージボックスです。各階のデイルーム、総合案内、救急外来受付に自由にメッセージを書けるよう、用紙と箱を設置し、患者さんからの感謝、お叱り、要望など様々なメッセージをいただいております。内容により、それぞれの担当部署や病院全体で改善策をたて、教育指導や施設整備などを行っています。一例として、トイレに関するメッセージをいただき、和式トイレを洋式に改修したり、男性トイレにお子さんのおむつ交換台を設置する

などの施設整備を行いました。いただいたメッセージとその回答・改善策は病院全体で情報共有し、院内の掲示板（1階再来受付機の向かい側）にも掲示しております。感謝のメッセージにつきましては、いただいた数により年度末に個人、部署を表彰しており、感謝のメッセージは働く職員にとって大きな励みとなっています。

三つ目は患者満足度調査です。この調査は、2年に一度行い、今年度は9月28日から外来は1週間、病棟は1か月間実施いたしました。ご協力ありがとうございました。結果を精査し、今後の病院運営のために活用させていただきます。

CS向上のために様々な活動を行っておりますが、まだまだ患者さんやご家族の声を聴くことも十分ではありませんし、その対応についても十分に取組んでいないのが現状です。今後も、患者さんやご家族からの声に耳を傾け、病院全体として改善し、CSの向上が図られるよう活動を続けることで、満足していただける病院を目指しています。



# 皆さんは正しい手洗いをしていますか？

健康管理において、手洗いが重要であることは皆さんの知るところかと思います。最近では、スーパーやショッピングモールの出入り口にアルコール製手指消毒剤が置かれていることが普通になりました。皆さんは、実際の生活の中でどんな時に手を洗っていますか？

《私たちが日常生活のなかで行う手洗いの場面》

- 食事の前後
- トイレの後
- 帰宅時
- そのほか手が汚れた時 など



**手洗いは風邪などに感染するリスクを減らすことができます！**

《冬場に流行する代表的な感染症》

- 季節性インフルエンザ
- ノロウイルス感染症（感染性胃腸炎）

**《アルコールはインフルエンザには効くけど、ノロウイルスには効かない！》**

毎年、冬場になると、インフルエンザやノロウイルスの感染の報告が増加します。自分のためだけでなく、まわりの人の生活を脅かさないためにも注意する必要があります。インフルエンザやノロウイルスに限らず、人に害を及ぼす微生物はそれぞれ特徴があり、弱点もそれぞれ違います。

インフルエンザ対策として使われるアルコール消毒はノロウイルスにはほぼ効き目がありません。

**《トイレの後は、流水と石鹸での手洗いが適切です！》**

ノロウイルス感染症の症状は、嘔吐と下痢が主な症状です。ノロウイルス感染症の場合、その嘔吐物や下痢便には、ノロウイルスが大量に含まれています。そしてわずかな量のウイルスが体の中に入っただけで、容易に感染します。ノロウイルスにはアルコールの消毒効果は期待できません。

- インフルエンザの予防と対策 ⇒ 石鹸洗浄、アルコールによる拭き取り消毒
- ノロウイルスの予防と対策 ⇒ 物理的な除去（洗い流す、拭き取る）、  
次亜塩素酸ナトリウムの溶液での拭き取り+水で拭きあげ

出典：ドクターズガイド

《次亜塩素酸ナトリウム溶液の濃度について》

ノロウイルスの環境消毒には、

塩素系の消毒剤（商品名：ピューラックス、ミルトンなど）

家庭用漂白剤（商品名：ハイター、ブリーチなど）でなければ効果的な消毒はできません。

※薄めた塩素系消毒剤（200 ppm以上：家庭用漂白剤では200倍程度）で嘔吐物や下痢便のあった場所を中心に広めに消毒する。薬剤の取り扱いには十分注意する。



出典：国立感染症研究所 感染症情報センター

## 部署紹介



# 医療情報課



医療情報課は、患者さんと接する機会は少なく、病院内での裏方の仕事が主な業務になります。医療情報係と病歴係の2係で構成されており、それぞれの業務内容は次のとおりです。

医療情報係の主な業務は、病院内の情報システムの運用・管理に関する事です。この情報システムには、「電子カルテシステム」「医事会計システム」「医療用画像管理システム（PACS）」のほか、検査や薬剤の部門システムがあり、ほとんどの業務でコンピュータを使用しています。

「電子カルテシステム」は、以前は紙で管理していたカルテ（診療録）をコンピュータに電子的に記録したもので、システムを院内ネットワークに接続しているため、いつでもどこでもカルテを記載・確認できるようになっています。

「医事会計システム」は、診療によって発生する費用を計算するもので、「電子カルテシステム」で実施した処置や処方などのデータを取り込んで計算しています。

「医療用画像管理システム（PACS）」は、以

前はフィルムを使用していたレントゲンやCT、MRIなどの医療用画像を、電子的な画像ファイルとしてコンピュータで一元管理しています。これにより大量の画像であっても瞬時に見ることができるようになっています。

病歴係の主な業務は、診療情報の管理に関する事です。診療情報は「物」と「情報」の2つに分類されます。「物」とはカルテやレントゲン、検査結果などのことで、紛失等が起こらないようにシステムを使用して厳重に保管・管理をしています。「情報」とは傷病名や診療行為のことで、これらをデータベース化して統計や診療指標を作成し、医療の質や効率の向上などに活用しています。

これらの診療情報には重要な個人情報が含まれており、厳重に管理しなければならないものなので、棄損や紛失、漏えいがあるてはいけません。そのため、診療情報を適正に取り扱うための資格を有する「診療情報管理士」を配置し、診療情報を適正に管理しています。

## 医師の交代のお知らせ

### 新任



タムラ アツシ  
**田村 敦**  
10月1日付  
**循環器科 副部長**  
心臓外科が4月に開設となります。宜しくお願いします。



コジマ トシオ  
**小島 敏雄**  
10月1日付  
**整形外科 医長**  
よろしくお願ひします。



リ ヒョンホ  
**李 賢鎬**  
10月1日付  
**整形外科 医長**  
関節リウマチでお困りでしたら是非一度ご相談下さい。



ネギシ ヒロシ  
**根岸 弘**  
10月1日付  
**脳神経外科 医師**  
精一杯頑張ります。宜しくお願い申し上げます。



ムラタ ミワ  
**村田 美和**  
10月1日付  
**皮膚科 医師**  
皮膚科の村田です。これからよろしくお願ひします。

### 退任

**矢作 隆幸**  
8月31日付  
**集中治療科 医長**

**山本 顕介**  
9月30日付  
**皮膚科 医長**

**小島 啓**  
9月30日付  
**整形外科 医師**

**齊藤 壮介**  
9月30日付  
**整形外科 医師**

**小林 真人**  
9月30日付  
**脳神経外科 医師**

# 四季の移ろい

## 秋の風景

北海道の帯広を初めて訪ねたのは、10年前の9月半ばでした。景色に驚いたのは、とにかく広い道幅と限りない地平線、歩道は車道の道幅以上もあり、豪雪の冬に想いを馳せながら、歩きました。帯広の冬は氷点下15度と冷え込みが著しく、一晩中暖房を欠かせないこの土地の秋の到来はさすがに早く、残暑気分で訪ねた私は場違いな装いでした。その道沿いに、ずらっと並んだ街路樹はナナカマドの木で、既に、緑の葉の中の実が赤く染まっていました。その日はあいにくの強風で、歩道一面にナナカマドの小枝や実が散乱し、まさに赤い絨毯を敷き詰めた様子は、北海道の果てしない景色に彩りを添えていました。

今年、早速の新幹線で9月の函館を訪ねました。土方歳三やペリーの像が見下ろす函館の町並みの街路樹は、やはりナナカマドの木でした。函館港の青い海と緑の函館山、その道を繋ぐナナカマドの赤い実、このコントラストは、いつまでも心にのこる北海道の秋の風景でした。(美)



## ミニギャラリー3ヵ月

「クリニカルアート(臨床美術)作品展」では、3歳から83歳までのアーティストの作品が展示され、誰もが主役で、誰もが尊重され、誰もが認められる、というクリニカルアートが体現されていました。

「爽展<sup>そうつん</sup>」では、素敵な風景のほか、人物・花・ヤサイなど身の回りの生活用品を題材とした作品が多く展示され、どの作品も心にとどまるものでした。

「齋藤元男写真展」では、世界各国の素敵な風景や建造物、また世界遺産が映し出されており、繊細な色彩や圧倒的な迫力が伝わり、旅をしたくなる気持ちを掻き立てられる作品でした。

「どの作品もそれぞれの作品が持つ力が伝わり、元気な気持ちになりました。」という感想がよせられています。

なお、ミニギャラリーの展示内容は医療センターHPでもご覧いただけます。

◆「クリニカルアート(臨床美術)作品展」(8月)◆



◆「爽展<sup>そうつん</sup>」(9月)◆



◆「齋藤元男写真展」(10月)◆



編集後記

暦上では秋なのに、真夏が見え隠れしている。今年は、熊本地震に始まり、空梅雨、北海道への台風上陸、晩夏から初秋にかけての長雨、阿蘇山の噴火等、自然災害や異常気象がトップニュースとなった1年であった。当センターでは、11月末にDMAT隊の集結と災害本部機能訓練を予定している。改めて災害対策について考える機会にしたいと思う。

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦  
編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180  
☎048-287-2525(代表)

HP <http://kawaguchi-mm.org>